価値創造事例 ▶CASE 2 事業投資事業 ささえあグループ

2024年4月、オリックスはささえあグループを動物薬業界で世界大手のビルバック社（フランス）へ売却しました。
畜産動物用ワクチンで国内No.1の株式会社微生物化学研究所と、動物用ジェネリック薬で国内大手のフジタ製薬株式会社のそれぞれの強みを生かし、予防薬から治療薬まで扱う国内トップクラスの総合動物薬グループとなったささえあグループ。
オリックスは2016年の投資実行から8年間、さまざまなバリューアップ施策を実行し、売却時の企業価値（EnterpriseValue）を大幅に成長させました。
その結果、世界トップクラスの企業がその価値を認め、投資先のグローバル展開へとつながる売却が実現しました。

案件を創出

顧客ニーズや市場の変化を発見

業界再編の動きが活発化

- 国内ヒト薬メーカーによる事業の選択と集中
- 薬事法改正による動物薬の国内製造義務撤廃

→動物薬事業の分離、売却

畜産動物用ワクチンで国内No.1の微生物化学研究所

動物用ジェネリック薬で国内大手のフジタ製薬

目利き

採算性やリスクを精査

	<投資先の統合によるバリューアップを想定>	フジタ製薬株式会社	KYOTOBIKEN 株式会社微生物化学研究所
	■ 体制強化：営業網を相互に活用 ■ 研究開発の強化：高付加価値製品の開発、ソリューション提案 ■ 海外分野進出：東南アジアなど成長市場へ	フジタ製薬（1930年創業、動物用ジェネリック薬の開発・製造・販売業）に事業承継ニーズあり。オリックスは数年かけたアプローチの中で、業界再編の動きに成長可能性を見出す。	事業領域が重複しておらず、事業承継などに課題がありそうな会社をリストアップ。その中からフジタ製薬と事業領域が重複していない微生物化学研究所（1948年創業、動物用ワクチンの開発・製造・販売業）にアプローチを開始。

投融資

各種案件を判断

2016年4月 微生物化学研究所、同年7月 フジタ製薬への投資実行。
それぞれの強みを生かし統合のシナジーによる企業価値の向上を目指す

強み

フジタ製薬株式会社	KYOTOBIKEN 株式会社微生物化学研究所
研究開発に優れ、迅速な商品化スキームによる高い競争力があり、効率的な営業体制で高い利益率を確保する。	研究開発に優れ、牛用ワクチンではシェア60%超。海外生産拠点も保有する。

追加投資

追加投資

価値の
向上・創出

モニタリング

定期的なモニタリング
（戦略・計画の検証）

EXIT
売却

資本・人材・ノウハウを次の成長領域に

事業継続

成長分野に
投資

	ささえあホールディングス	ささえあ製薬株式会社	
資産の価値を向上	**グループ体制の構築による経営の効率化** （2022年 ささえあホールディングス株式会社を本格稼働） 経営の効率化と管理体制の整備を進め、**動物薬業界大手へ**	**営業機能の統合による販売力強化** （2020年 ささえあ製薬株式会社を本格稼働） 予防薬から治療薬までワンストップで販売する体制を構築	**コーポレート・ガバナンスの強化** 法令遵守を徹底すべく体制の構築や品質保証を強化*
環境変化に対し柔軟に対応	・人事制度の改善、共通化 ・決算の早期化、人員採用の強化 ・グループ共通の基幹・業務系システムの整備 ・グループ横断の組織の新設、戦略の共有	・全国をカバーする営業ネットワークの構築 ・業界唯一の代理店会を形成し強固な関係を構築 ・代理店・農場向けに情報提供を強化	・人体薬業界での長い経験を有する人材を積極採用 ・外部コンサルによる適正な製造・品質管理体制の評価 ・プロセスの明確化、データの保管体制強化など、マネジメント体制の強化

総合的な経営判断

継続保有／Exitの検討

ヘルスケア領域の核として
オリックスグループでの
コアビジネス化

or

ささえあグループを通じた
日本市場への高い関心を持つ
グローバル企業へのExit

戦略的なグローバル展開による市場の拡大や研究開発力の強化などを見据え、2024年4月 動物医療業界で世界大手のビルバック社（フランス）への売却を決定。**売却時の企業価値（Enterprise Value）は大幅に成長**

新市場を開拓し、持続的成長を実現

動物薬業界における企業統合、業界再編により企業価値の大幅な向上を実現し、製造・品質管理、法令遵守の体制構築などの課題に対応したノウハウを蓄積。

次の投資検討、投資先のバリューアップ施策に生かす

＊2016年、2017年に微生物化学研究所は製造管理・品質管理に係る行政処分を受けました。これを厳粛に受け止め、動物用医薬品の製造販売業、製造業等についての薬事関連法令の遵守体制を構築、整備しました。

～ヘルスケア領域における事業投資事業について～

オリックスが投資の中核分野としているヘルスケア領域においては、人用、動物用を問わず、製造や検査、販売、在庫管理等で品質や経営管理、事業管理が重要であると認識しています。ささえあグループへの投資を通じて、それらに対する課題をより深く理解し、蓄積したノウハウを今後のヘルスケア領域への取り組みに反映していきます。